

デジタル情報を活用した これからの医療のかかり方 :2025

ご家族の皆さんでいっしょにデジタル情報を活用して医療チームの一員になりましょう！

日時 2025年 **7月27日**
14:00~16:30(受付開始13:30)

場所 **あきた芸術劇場ミルハス
大ホール**

入場無料
【定員先着】
2,000名様

【開会挨拶】 秋田大学大学院 医学系研究科長 羽瀨 友則
【来賓挨拶】 秋田県知事 鈴木 健太



オープニングリマックス 秋田大学大学院 医学教育学講座 教授 長谷川 仁志

市民の皆様と医師・医療者がチームとなってデジタル情報を活用し
次世代の理想的な医療を実現しましょう！



特別講演 座 長:秋田大学高齢者医療先端研究センター 教授 大田 秀隆

座 長:日本医師会 常任理事 藤原 慶正

1 「音楽の力ーDMV(深層振動)による認知機能 低下やフレイル予防の可能性ー」

野口 五郎 Goro Noguchi

1971年にデビューし、今年で歌手55周年！数々のヒット曲を送り出しながら、音楽と身体・医療の関係にも強い関心を持ち続け、秋田大学での共同研究に取り組む。音楽が心と身体に与える影響を、科学的探究と、人へのあたたかな思いを込めた視点の両方から見つめ続けている。



2 「市民・医療者協働のチーム医療で危機に備える ーCOVIDー19対応の経験からー」

横倉 義武 Yoshitake Yokokura

日本危機管理医学会理事長、日本医師会名誉会長、元世界医師会長。長年にわたり日本および世界の医療界を牽引。COVID-19対応を通じて、医療は社会の「安全保障システム」であることを再認識。市民と医療者の協働によるレジリエントな社会づくりの重要性を、危機管理の視点から提言し続けている。



シンポジウム 座 長:秋田大学大学院 医学教育学講座 教授 長谷川 仁志
札幌医科大学 医療人育成センター教育開発研究部門 准教授 三原 弘
コメンテーター:野口 五郎、横倉 義武

1 「デジタル情報を活用したこれからの医療のかかり方 患者支援の立場から」

認定NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長 山口 育子

2 「デジタルトランスフォーメーション(DX)でみんなが安心できる医療をつくらう！ ーDXを活用した協働型医療の実践ー」

東京都立広尾病院 病院総合診療科 部長、院長補佐 小坂 鎮太郎

3 「デジタル時代の新しい医療のかかり方ーAIで受診前医療面接を」

札幌医科大学 医療人育成センター教育開発研究部門 准教授 三原 弘

4 「世界一優しいドクターがあなたの手の中に ー生成AIが切り拓く医療の未来ー」

順天堂大学医学部附属浦安病院 総合診療科 准教授 高橋 宏瑞

5 「患者と医療者がデジタルを介して協働して医療の質を向上させる :米国の近況」

ハーバード大学医学部、ブリガム・アンド・ウィメンズ病院 小林 天美

6 「医学生による実践セミナー:ChatGPT(生成AI)への上手な質問や 医療情報の入力ポイントー健診・予防・想定される疾患・検査・治療からセカンドオピニオンまでー」

秋田大学医学部医学科3年 池原 誠人、小野 佑一郎、小林 美月、関口 実優、千葉 映雅、渡邊 雅輝



【申込方法】

①二次元コードを読み込み、
申込フォームに必要事項を
入力後、送信してください。

申込はこちら



<https://forms.gle/CKHCgYouXVye9woC7>

②二次元コードでの申込が難しい場合、
郵便(往復はがき)でも申込みいただけます。
往復はがきに、市民公開講座申込希望・郵便番号・住所・
お名前(フリガナ)・電話番号を明記しお申込みください。

【郵送先】

〒010-8543 秋田市本道1-1-1
医学教育学講座 宛

締切
7/18(金)

※複数人参加希望の場合は、全員の氏名を記入ください。
※応募者多数の場合は先着とさせていただきます。

【お問合せ】

秋田大学大学院 医学教育学講座

TEL:018-884-6226 (平日8:30~17:00)

E-Mail:medicaledu@med.akita-u.ac.jp

主 催/秋田大学大学院医学系研究科・医学部、秋田大学医学部附属病院
共 催/あきた医師総合支援センター、秋田大学大学院医学系研究科医学教育学講座
後 援/秋田県、秋田県医師会、秋田県薬剤師会、秋田県看護協会
秋田県歯科医師会、秋田県病院協会、秋田県病院薬剤師会
秋田県理学療法士会、秋田県作業療法士会、秋田県臨床検査技師会

パネルトーク

閉会挨拶 秋田大学医学部附属病院長 渡邊 博之